

NEW

SR Saclar[®] Esthetic composite tooth

SR サクラール

保険適用

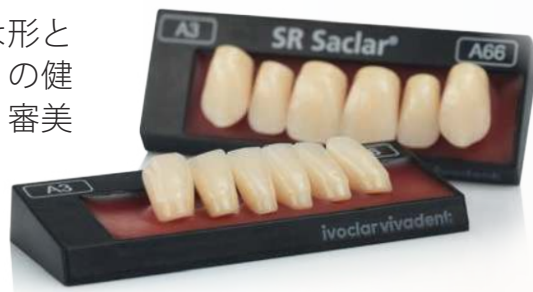


Esthetics re-defined

ivoclar
vivadent

SR サクラール

SR サクラールは、高い素材基準と、歯の自然な形とシェードデザインを組み合わせています。多くの健康保険制度でカバーされている耐久性があり、審美的に心地のよい義歯に。



高度にクロスリンクされた材料

適した機能を実現するために、切縁層は、高硬度を特徴とする新開発のIOP材料(無機質最適化ポリマー)で作られています。無機質フィラーは23%以上です。

基準を超える

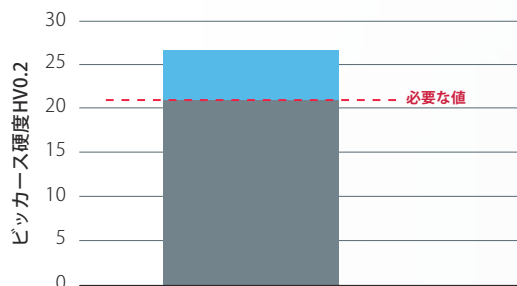
JIS Z 2244 : 2009規格では、硬質樹脂の硬度が21 HV 0.2以上である必要があります(下のグラフの赤い線を参照)。

SR サクラールの前歯と臼歯の機能的な切縁領域は、明らかにこの値を超えています。



IOP材料のビッカース硬度HV0.2

硬質樹脂のJISZ 2244 : 2009規格に準拠して測定



SR サクラール 切縁

Source: K. Hagenbuch, SR Saclar Verification Report, Test Report, Ivoclar Vivadent, 2019



23%

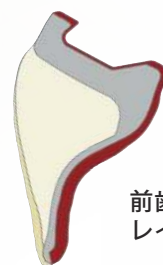
無機質フィラー含有量



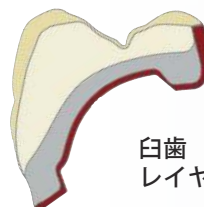
形と効果

前歯と臼歯形態の両方が4つの層から構築されています。それぞれ6つの前歯形態は、独自のレイヤリング組織を備えています。個々の表面の質感と組み合わせることで、自然な見た目の効果が得られます。

機能的な切縁部領域はIOP材料で作られています。象牙質、首、切縁部は、実績のあるDCL素材(ダブルクロスリンク)で適切な色合いでデザインされています。その結果、最も適した機能特性と強化された耐久性を備えた審美性の高い義歯が得られます。



前歯
レイヤリング構造



臼歯
レイヤリング構造

Delivery forms 製品内容

シェード A2、A3、A3.5 - 各形態×10 プレート

- ・ 上顎前歯 6形態
- ・ 下顎前歯 3形態



- ・ 上顎臼歯 3形態
- ・ 下顎臼歯 3形態



形態選択

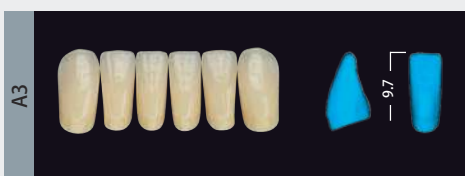
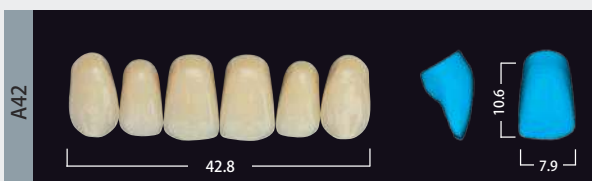
SR サクラル 前歯

Small

SOFT



BOLD



SR サクラルTyp 臼歯

Small



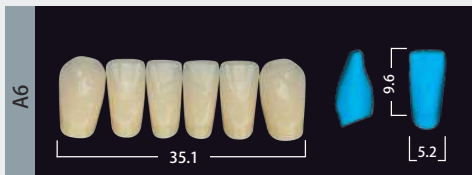
Medium



Large



Medium



Large



Combination table 組み合わせ表

		前歯 SR サクラルール		白歯 SR サクラルール Typ
		上顎	下顎	上顎 / 下顎
Small	SOFT	A13	A3	NU2 / NL2
	BOLD	A42	A3	NU2 / NL2
Medium	SOFT	A36	A6	NU3 / NL3
	BOLD	A66	A6	NU3 / NL3
Large	SOFT	A15	A8	NU5 / NL5
	BOLD	A27	A8	NU5 / NL5

この組み合わせ表はガイドラインとして推奨しています。
特定の解剖学的条件の場合、逸脱する可能性があります。

前歯のセットアップ

通常の咬合状況では、中央切歯は、唇の表面を約1cmに配置することにより、切歯乳頭と位置合わせされます。切歯乳頭の中心から前方に7mm。

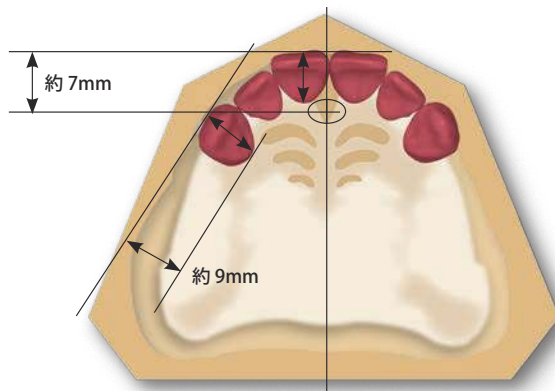
縫線正中面は、上顎の前方セットアップの対称軸を決定します。

中央切歯の切歯縁のコースは、全体の垂直寸法の高さの半分に2mmのオーバーラップを加えたものによって決定されます。

歯列弓では、犬歯は最初の大きな口蓋骨のペアの領域に配置され、上顎犬歯の唇側表面は約9mmの距離に配置されます。

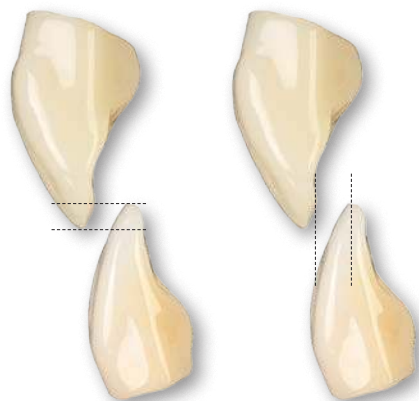
犬歯が配置された後、側切歯は中央切歯と犬歯の間のスペースに配置されます。

犬歯から始めて、下顎切歯は、それぞれの咬合位置と咬合状況に沿った垂直方向と矢状方向の距離に設定されます。



後部押し出しおよび突出中のガイド接触は、前部領域では望ましくありません。

- 一般的に、前歯は約1.5mmの垂直方向と水平方向のオーバーラップ。
- 重なりは、前歯が機能する際に接触しないように設計する必要があります。
- 従来の義歯には、クラウンやブリッジのテクニックで時々行われるような前方ガイダンスは推奨されません。
- 機能中の前方接触は機能不全につながる可能性があります。



Processing instructions 処理指示

シェード：

- 3A-D シェード (A2, A3, A3.5)

シェード選択：

シェードの決定は、Ivoclar VivadentによるA-Dシェードガイドまたはその他のA-Dシェードガイドを使用して選択します。患者のシェード選択は、日中(できれば北からの光)の定義された光条件(5,500 Kの色温度)で実行する必要があります。

最小レイヤー厚み：

歯の安定性と正しいシェード効果を維持するために、最小レイヤーを強調しないことをお勧めします。

- 前歯：最小 2.5 mm
- 白歯：最小中央窩 2.0 mm、
2.5 mm以上の尖頭では、
頸部では最小2.5 mm

重要な注意事項：

取り外し可能な義歯が長期間にわたって機能し続けることを保証するために、以下の前提条件が必要です。

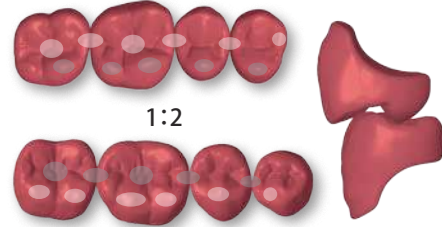
満たすべき条件：

- 義歯は、歯科医と緊密に協力して計画および製作する必要があります。

臼歯のセットアップ

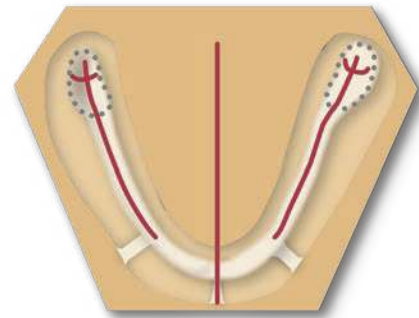
SR サクラール Typ形態は、通常の咬合状況と同様に1対2の関係でセットアップされます。その結果、中心位の主要な接触は、下顎の中央窩と辺縁隆線に位置します。

Typ形態は、下顎の頬側咬頭の二次接触領域によって支えられています。



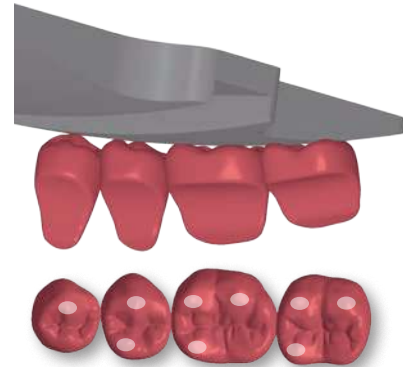
咬合面から見た場合、下顎後歯の中央窩は歯槽堤の頂上に位置しています。

臼歯セットアップの舌側の境界は、ポンドの線によって定義されます。ポンドの線は、下顎犬歯の近心角から同じ側の三角の舌側の境界まで伸びています。



Ivoclar Vivadentテンプレートは、前後(Speeの曲線)と中外側の補正曲線(Wilsonの曲線)が考慮されることを保証します。自然な歯列の補正曲線は、両側のバランスの取れたグループガイダンスに不可欠です。

頬側先端と近心舌側尖の両方がテンプレートに接触することに注意してください。



- ・ 歯科医と歯科技工士は、バランスの取れた咬合と関節を確保する必要があります。
- ・ 歯科技工所の製品は、製造元の指示に従って使用してください。特に義歯は、過度の研削によって弱くならないようにする必要があります。
- ・ 義歯床材との確実な接着を確保するために、歯をスチームで洗浄し、粗くし、モノマーで濡らします。自己硬化性ポリマーで完成させるには、追加の機械的保持が推奨されます。
- ・ グレーズワニスまたは義歯洗浄スプレーの塗布はお勧めしません。
- ・ 歯を直接熱にさらしたり、炎に触れたりしないでください。

- ・ 研削中は、高い研削圧力による発熱を防止する必要があります。
- ・ ユーザーはフェイスマスクを着用し、可能であれば、粉塵から保護するために吸引装置を使用する必要があります。
- ・ 義歯は通常の洗浄剤で洗浄できます。溶剤との接触を防ぐ必要があります。
- ・ 患者が製品成分にアレルギーがあることがわかっている場合は、使用しないでください。
- ・ C&Bベニアリング材を使用する場合は、対応する使用説明書を守る必要があります。
- ・ 研磨チップが目に入るのを防ぐために、保護メガネを着用することをお勧めします。

一般の名称：硬質レジン歯 / 販売名：SR サクラール / 認証番号：302AGBZX00002000 / 管理医療機器

製造販売元

Ivoclar Vivadent 株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24

TEL:03-6801-1301 FAX:03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

info.japan@ivoclarvivadent.com

PR0044B01

